

アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤の国内自給達成に向けた具体的方策について

－ ワーキンググループにおける検討に当たっての 当面の論点（案）－

- (論点 1) 適正使用の推進は図られているか。
- ・ 国、都道府県における取組み
 - ・ 関係学会における取組み
- (論点 2) 国内献血由来製品に関する関係者の理解、役割の認識は進んでいるか。
- ・ 医療関係者の理解
 - ・ 患者の理解
 - ・ 関係者（国、地方公共団体、採血事業者、製造業者等、医療関係者）の役割
- (論点 3) 国内献血由来原料血漿を使用した生産は、どうあるべきか。
- ・ 国内事業者（日本赤十字社を含む）
 - ・ 外国事業者
 - ・ 外国事業者と国内事業者との技術協力
- (論点 4) 血液製剤代替医薬品の開発と実用化に向けてどのように対応していくべきか。
- ・ 遺伝子組換え製品

(参考)

○ 基本理念

(アルブミン製剤、免疫グロブリン製剤を含む血液製剤について)

1. 血液製剤に係る安全性の向上
2. 献血による血液製剤の国内自給の確保
3. 血液製剤の適正使用の推進
4. 血液製剤の製造に係る施策の策定及び実施に当たっての公正の確保及び透明性の向上